

生ごみ分別収集体制の課題・調査研究事項の検討状況

1 収集の体制

- 現状のごみ収集コースの効率化及び必要人数の再確認
 - 容プラ班での収集試行
 - 身体的負担が増すため、現状の人員での対応は困難、収集回数の増加には人員及び車両の増が不可欠

2 2分割パッカー車両導入の検討

- 2分割パッカー車事例研究
 - 4月25日(火)視察
 - 葉山町仕様の可否及び見積依頼

- 車両の諸元
 - 車輻寸法:単独と比べ若干のサイズアップ、荷室容積は4.4 m³→4.0 m³
 - 車輻価格:単独の約1.5倍
 - 納 期:16か月程度

- 見通し
 - サイズアップに伴う狭い道路への進入が困難になるため、収集困難世帯が約675世帯分生じ、この対応のため軽ダンプの班を1班追加する必要がある。

3 収集効率向上に向けDX化導入

- 事例研究
 - 座間市及び小田急電鉄(株)の先行事例の効果等を事業者へのヒアリングし確認。
【車両の積載量14%増、運搬回数18%減、剪定枝853t増、可燃ごみ量1048t6%減】

- 日野自動車(株)の効率化支援サービスの事業性検証の試行
 - 内 容:日野自動車(株)の商品開発への協力により、パッカー車両にGPSを設置し、位置情報による業務の現状把握、収集ルートを見える化し、収集効率化や不測時の対応の支援等の調査研究を行う。
 - 期 間:令和5年6月21日～9月30日

4 委託

これらの検討結果を踏まえ、生ごみ週2回収集の課題に対しては、委託を含んだ収集体制を構築していく方針。

5 生ごみの収集体制

- 生ごみ週2回、燃やすごみ週1回 → 現状よりも週1回全町を収集する業務が増加
- 増加分の業務は民間委託として収集

6 生ごみ収集方法

(1) 現状（可燃ごみ2回/週） 直営

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
収集エリア・品目	可燃ごみ	長柄	一色	【廃プラ】 1週目 一色 2週目 長柄 3週目 木古庭・上山口・下山口 4週目	長柄	一色
		堀内	木古庭 上山口 下山口		堀内	木古庭 上山口 下山口
	容プラ	木古庭 上山口 下山口	堀内	堀内	一色	長柄

(2) 新体制イメージ（生ごみ2回/週、可燃ごみ1回/週） 直営+委託

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
収集エリア・品目	生ごみ	長柄	一色	【廃プラ】 1週目 一色 2週目 長柄 3週目 木古庭・上山口・下山口 4週目 堀内 【草木類】 全エリア	長柄	一色
		堀内	木古庭 上山口 下山口		堀内	木古庭 上山口 下山口
	可燃ごみ	一色	長柄		木古庭 上山口 下山口	堀内
	容プラ	木古庭 上山口 下山口	堀内		堀内	一色

※現状の構想段階の例示であり今後変更の可能性がります。